

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連		商店街（代表者）	お客様の様子	・平昌オリンピックで過去最高のメダル数を獲得し、ムードが良い。
		一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・2月の割には売上が増加している。
(東海)		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・業績が上方修正の企業が多く、消費マインドは良好である。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・3連休最終日の悪天候の影響は大きかったが、それ以降は週末の来客数が回復し、結果としては良くなっている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・バレンタインデーでチョコレート売場はにぎわっていたが、紳士靴売場への影響はなかった。しかし、男性の来店客が多く、購買意欲も高い。パーゲンセールの規模は小さくなっているが、セール品と定価品の売上は半々で、来店すると購入に至る客が多い。
		百貨店（経理担当）	お客様の様子	・今月は厳しい寒さや雪による一時的な影響はあったものの、消費は依然上向き基調である。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・宝飾美術品等の高額品に動きがある。インバウンド需要により化粧品が好調である。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・バレンタイン商戦は前年を上回る成績を残し、海外ブランドや時計等の高額品の需要も旺盛で、売上増加につながっている。
		百貨店（販売担当）	お客様の様子	・2月前半は1月のパーゲンセールの影響もあり、買い控えがみられたが、後半以降は落ち着き、給料日頃からは高額商品も動き出し、ギフト需要が高まっている。
		スーパー（店員）	来客数の動き	・白菜やキャベツ等の葉物野菜は、価格高騰にもかかわらず買い求める客がいる。節分の恵方巻きも順調に売れた。平昌オリンピックは時差がなかったため、フィギュアスケート等、人気競技の時間帯は閑散としていた。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価が上昇している。
		スーパー（ブック長）	お客様の様子	・こだわり商品のコーナーや店舗企画商品の動きが比較的良く、価格よりもコトを重視して買われている。
		スーパー（営業企画）	お客様の様子	・平昌オリンピックの明るい話題に影響されて、し好品に対する支出が伸びている。客単価にも若干の上昇がみられる。
		スーパー（商品開発担当）	来客数の動き	・今期に入って初めて来客数が前年同期を上回っている。それに伴って売上も前年並み、予算共に達成している。
		衣料品専門店（売場担当）	販売量の動き	・雑貨等の小物から衣料品に至るまで、各アイテムが万遍なく動いている。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・3か月前に比べると全体的に販売単価が改善しているが、来客数は人口減少とともに減り続けている。売上が今後も回復基調にあるかは判断が難しい。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・決算期に入り販売台数が増加している。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・決算月ということもあり、客の動きは良い。買換え客も増えている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・東京オリンピックの影響もあり、景気が良い方向へ向かっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・1年で一番の増販期のため、2月前半から目標を上回る販売台数で推移しており、前年同様の販売台数が見込める。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・例年、決算時期は買い回り客も含め客の動きが活発である。販売、サービス共に売上はまずまずだが、非常に良いというほどではない。
	住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・年度末で、民間、公共工事共に、小規模なりフォーム工事があり、長期的にも大規模補修工事等が始まっている。新築についても、マンションは横ばいながら住宅は、戸建て、分譲共にやや伸びている。	
	その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	来客数の動き	・テナントビルの閉館に伴い、初めての客や懐かしむ客で来客数が増加している。	
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・年度末のためか、あるいは暖かくなってきたためか、申込みが増えている。	

	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・ 2月下旬になって夏休み向けの予約が増えてきている。家族旅行が主で国内外を問わない。暖かくなり、店頭パンフレットを探しに来て、旅行先を考える客も目にする。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・ 海外テロ事件の報道が減っているためか、社員旅行等で海外旅行を検討する動きが数社ある。しばらく落ち込んでいた韓国旅行も、平昌オリンピックの観戦で申込件数が若干増加傾向である。
	タクシー運転手	来客数の動き	・ 僅かだが来客数が増えてきている。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ 年度末に向けて、売上は増加傾向にある。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ 来客数は少ないが、高額商品の指名買いが増えている。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・ 寒さの影響を心配したが、新規客が増えてきている。売上も増加している。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・ 客の様子から、一時期の底ばいからは脱した感があるが、景気が良くなっていると実感するまでにはまだ至っていない。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・ 販売量も今一つだが、単価の高い商品が全く売れず、もうけの少ない安い商品しか売れない。個人が自由に使える金はほとんどない。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・ 単価の低い商品を購入する客が多い一方、金額は全く気にせず高価な商品を求める客もいて、格差が見受けられる。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・ 一部の大口法人客の売上は増加しているが、個人客の来客数は減少し、売上も減少している。3か月前と比べると全体の売上は変わらない。
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・ 年末年始の売出しも終わり商売的には一番弱い月である。年金振込日から1週間は忙しかったが、それ以降は暇である。調剤部門はインフルエンザや風邪の流行で忙しい。当地方では引き続き陶器業界の倒産、廃業が続く、土日祭日は一部の店舗を除いて非常に閑散としており、景気は横ばいから下降状態である。
	一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・ 年度末の駆け込み受注が緩やかながら続いている。
	百貨店（業績管理担当）	来客数の動き	・ 寒さが続き、春物商材の販売は苦戦している。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・ 客は寒さが厳しいため外出が面倒になって日用品を買う機会が減り、野菜等も高騰しているため販売が難しくなっている。株価の乱高下で百貨店も高額商品が売れなくなっている。メーカーの輸出は円高でも順調であるが、大手メーカーは収益が減少する分、中小企業に単価引下げを要求する。全体的には景気は余り変わらないが、天候等の影響で消費の面では良くない。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・ 中小小売店では、ずっと悪い状態が続いており変わらない。
	スーパー（店員）	単価の動き	・ 客は、より単価の低い物を求める状況がずっと続いている。景気が良くなっているといえる状況には、なかなかならない。
	スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・ 売上は前年同期比101%で推移している。衣料品は94%、住居関連品は108%、食品は102%で、婦人紳士衣料品が不振である。
	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・ 寒さの厳しい日が少なくなり来客数が増加している。特に、ポイントアップなどの販促日は来客数が増加する。しかし、景気が良くなっているというほどではない。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ おにぎり100円等、セール時の客の反応は非常に良いが、その後の来客数増加にはつながらず、その場限りとなっている。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ 客単価は前年同期比で好調に推移しているものの、来客数が前年同期比では厳しいため、全体の数値が伸びず現状維持である。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・ プリペイドカードはよく売れているが、その分、他の一般商品には金が回らず、一般商品は前年割れをしている。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ 天候不良等により、大幅な来客数の減少が続いている。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・ 季節商材のセール等があると、来客数は多少増加するが、それ以外の平常日の来客数に変化はない。

	コンビニ（総務担当）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・来客数は、前年同月比でみると他の月よりもマイナスが目立つが、まだ単月の動きである。前年同月比で大きなマイナスが続けば、景気全体の変化の可能性もある。
	家電量販店（店員）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に販売数は落ち込んでいる。
	家電量販店（フランチャイズ経営者）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・客単価は上昇しているが来客数は減少傾向で、売上は変わらない。株高でもうかっている人もいるが、年金暮らしで切り詰めている高齢者もいて所得の2極化が進んでいる。当店は高齢の客の比率が高いので、好景気の恩恵を受けにくい。
	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・2月は例年良くないが、今年も例年並みである。問合せはあるが、成約数は少ない。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・決算期に入り来客数はほぼ前年並みで推移し、ハイブリッド車種を中心に、売上もほぼ計画どおりで前年並みとなっている。今まで余り動きのなかったファミリー層でミニバンを中心に購入客が増えているが、値引きが厳しく収益には結び付いていない。工場への在庫量も計画どおりだが、客単価が下がっているため、こちらも余り思わしくない状況である。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末の決算期を迎えているが、新車市場においては、これから発売の新型車種が多く、客の購買意欲の高まりをなかなか感じられない。客からは、もう少し景気が上向いていればこれほど慎重にはならないという声を聞く。
	その他小売 [ショッピングセンター]（経理担当）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高は前年比マイナス1.4%、来客数は前年比マイナス3.7%で推移している。ショッピングセンターのテナントが、家賃の引下げ交渉を求めるケースが多くなっている。
	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・バレンタインデーから卒業シーズンは、プレゼント用に購入する機会が少し多い。
	その他飲食 [仕出し]（経営者）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・何となく波に乗れない雰囲気である。
	その他飲食 [ワイン輸入]（経営企画担当）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・パート社員を中心に、賃金が増え景気が良くなっているという認識が広まりつつある。記念日には、せっかくだからと、ふだんよりも単価の高い商品を買う客もいる。
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックやワールドカップ等の国際的な大会が開催されると、その間は客の動きが止まる。平昌オリンピックの開催中も、販売量は一時停滞した。
	旅行代理店（経営者）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナル駅周辺の人通りは一見多いが、近年開業したビルの飲食店街も、当初の行列ができるほどの来客数は既になく、一部のテナントからは契約期限前の退店希望が出ている。新たな開発が進むことで、飲食店や他の業種でも過当競争が続いている。
	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・平昌オリンピック等、大型イベントの開催期間は、テレビ観戦等で旅行やレジャーの客が減少する。一方、春節で訪日旅行者は増加しており、金も落としてくれていて、プラスマイナスゼロというところである。
	タクシー運転手	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・2月上旬は冷え込みが厳しく、通勤時間帯の客が多かった。日中はインフルエンザ等で病院に行く客が多いが、夜の街は、特に金曜日以外、早めに帰る人が多い。金曜日の夜だけは少し良いが、前年並みである。
	タクシー運転手	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・ずっと以前から夜の繁華街の人出が少ない。人の動きにも変化がない。以前は週末になると人出が増え、良くなるという期待もあったが、最近は週末も平日と変わらず人出が少ない。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・2月後半になっても販売量は伸び悩んでいる。
	テーマパーク職員（総務担当）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・2月は、来客数は目標人数を超えているが、売上は目標到達が難しい。
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修の案件が数件あるものの、新築案件は相変わらず少ない。
	住宅販売会社（従業員）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅ローンの貸出金利が下がって、住宅着工数が増えると思っていたが、なかなか増えていない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・景気は横ばいであるが、建築業に対する銀行融資の厳しさを実感している。
	商店街（代表者）	単価の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・寒波の影響でガソリンが値上がりし、野菜も値上がりして、客の購買意欲を損なっている。

	商店街（代表者）	単価の動き	・1,000円以下の商品の売上は安定しているが、1,000円を超える商品の売上は10%以上減少している。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・景気が良いという話は全く聞かない。
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・個人消費の低迷が非常に長く続いている。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	お客様の様子	・20年以上営業し売上も安定している飲食店から、閉店の連絡があった。
	百貨店（計画担当）	お客様の様子	・平昌オリンピックや天候の問題等、特殊な要因も考えられるが、2月に入って来客数や購入率が落ち込んでいる。
	スーパー（商品管理担当）	お客様の様子	・野菜の価格が高く、売上予算は達成しているが利益面では苦しい。客も野菜の高値を意識しながら買物をしている。
	スーパー（企画・経営担当）	来客数の動き	・部門別にて購入客数、売上高が前年同月を上回る場所がない。1月まで調子の良かった部門でも、2月は前年比で98%と苦しんでいる。
	コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・前年に比べて来客数は減少しているが、客単価は上昇しているため、売上はそれほど大きく減少していない。しかし、来客数の減少が続いているため、景気は下向きである。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・朝晩の気温が低く、夕方以降の来客数が減少している。
	衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・キャラクター商品を扱う業者の話でも、一定量は出ているが、伸び悩んでいるとのことである。
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	単価の動き	・客は通常価格ではなく、特売、広告等の価格をみて購入を判断している。
	その他専門店〔書籍〕（店員）	来客数の動き	・例年売上が減少する時期ではあるが、前年同月比で1割減少と、ここ最近で最も悪くなっている。近隣には大型店がオープンし、客の財布のひもも依然として固いままである。対策は考えているが、価格で勝負できないため厳しい状況にある。
	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・購買意欲が全く感じられない。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が少なく、特に若い客が少ない。
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・3か月前から前年比で5～8%の宿泊者数の減少が続いている。話題性に欠け団体旅行数が減少してきているのが原因で、全体的に来客数が伸び悩んでいる。
	観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・全体に占める割合は小さいが、館内食堂の利用が10%近く減少しており、やや悪くなっている。宿泊者数はインパウンドの取扱先を広げたため伸びている。一般宴会も大口客が前年からは変わったが、トータルでは前年並みの受注である。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・2月はカレンダーの日並びが悪い。
	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・宿泊、レストランの利用客が前年同期比95%で、減少している。法人利用の宴会は、順調に推移している。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約数はさほど変化はないが、解約数が確実に増加している。契約内容も低料金のコースに流れてきている。
	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・新規の申込みよりも、廃止の申込みが増えている。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・前年末頃と比べると、客の動きが全くなくなってきた。新しい商材がないこともあるが、客は無関心になってきている。
	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・来客数が減少している。インパウンドの客が少ない。
	観光名所（案内係）	お客様の様子	・来客数が減少している。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・2月は寒い日や雪の日が多く、来客数は伸び悩んでいる。前年同期比では多少増加しているが、3か月前と比べるとやや悪くなっている。
	理美容室（経営者）	来客数の動き	・客との話からは、景気は良くなり物価も上昇し、このまま良くなりたくないように見受けられる。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・客の話では、天候が悪く寒かったので、出歩かずレジャーにも行かないという声が多い。

	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・キャンペーンが終わり、通常料金で購入する客が少なくなり、しばらくは販売量が減少する。
	美容室（経営者）	それ以外	・都市部と比べると、地方の景気は良くない。
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	競争相手の様子	・グループホームや就労支援施設が新規に設立されているが、利用者数は増えず、経営状態が良くないところも見受けられる。
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	単価の動き	・介護保険制度の改正で上限価格が設定されることになったため、既に市場価格は下落している。
	設計事務所（職員）	お客様の様子	・客との打合せ等では、景気の良い話は聞かない。
	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	お客様の様子	・毎年この時期は月極駐車場の問合せが多いが、今年は少ない。契約者の車も税金の安い軽自動車が多い。
	×	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き ・異常な寒さが続いて来客数は少ないが、なかには着られる時期が限られる商品と分かった上で購入してくれる客もいる。ただし、その商品を扱うメーカーは減ってきている。
	×	一般レストラン（従業員）	来客数の動き ・もともと2月は客が来ないが、平昌オリンピックがあって本当に客が来ない。苦しい状況である。
	×	理容室（経営者）	お客様の様子 ・客の来店サイクルが長くなり、価格面でも安い店に客足は流れている。
	×	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子 ・低価格の物件は何とか売却できるが、高価格な物件は売行きが悪い。
企業 動向 関連 (東海)		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き ・3月一杯は完成車メーカーの生産量が上向きであり、3月までは確実に良い。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き ・北米自動車向けの設備投資はやや停滞感があるが、引き合い等は、活発とまではいえないものの、少しずつ増えてきている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き ・ケーブルテレビ業界では、4K・8Kテレビ放送に対応するため、特に地方都市の有力事業者で設備強化が進められている。当社でも受注・増産体制を整えているが、部品供給が間に合わず納入遅れも懸念される。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子 ・同業他社等では、最近転職者が増えているが、景気が良くなり条件の良い会社に転職する人が多い。
		建設業（役員）	受注量や販売量の動き ・マンションの問合せや来場者が増えてきている。他社の動きもあり、相乗効果も見受けられる。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き ・アジア地域間で貨物量が増加している。
		通信業（法人営業担当）	それ以外 ・有効求人倍率をみると人手不足感は強い。年度末ということもあるが、業務量、受注量共に堅調である。
		通信業（総務担当）	受注量や販売量の動き ・自社を含む企業の採用活動が本格化している。求人倍率の高さは、企業活動の活況を反映している。
		金融業（従業員）	取引先の様子 ・建築業等では、東京オリンピック等の影響もあるのか、僅かではあるが、生産量や受注量が例年よりも増加している。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き ・3月納期の案件が多く、2月は活況が続いている。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子 ・2月だけみると、ここ数か月と比べて特に新規の仕事が少ないが、全体的にはそれほど悪くない。競合企業の状況もまずまずである。
		食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き ・年明け以降、原材料価格の上昇や運賃の負担増加等が影響し、売上は順調でも利益が伴わない状況が続いている。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き ・受注量は緩やかな減少が続いている。
		化学工業（人事担当）	受注価格や販売価格の動き ・様々な商品の価格が上昇してきており、手を出せない人も多く、景気の力強さが感じられない。
		化学工業（総務秘書）	それ以外 ・企業の手不足感が強く採用意欲が高いのは、景気の良さを感じさせる。平昌オリンピックの好成績も、景気にとっては悪くない。日本銀行人事のニュースも、政策面で急激な変動はないと感じさせる。
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き ・新規製品の受注量が急速に増加しており、低迷から抜け出せそうである。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き ・受注量が伸びない。販売価格は据置きで、原材料が値上がりしており利益を圧迫している。

	金属製品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・ステンレスや鉄等、金属材料の値上げ要請が強い一方、来年度前半の仕事量への不安から、安値の受注競争もあり、楽観的になれない。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注量等をみると国内景気は順調に推移している。問合せも増えており、今後の売上増加も期待できる。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は、前年10月頃から前年同月比10%プラスで横ばいを続けている。
	輸送業（経営者）	それ以外	・受注する荷量は前年同期をやや上回るペースで推移しているが、自社及び協力先の運転手不足で仕事を断らざるを得ない。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・北陸で大雪もあったが、結果的には大きな影響はなく、荷動きは例年をやや上回る状況である。原油価格も多少落ち着く方向で一服感がある。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・荷物取扱量は、3か月前も2月も、前年同月比2～3%増加で横ばいである。前年と比べると良くなっているが、3か月前と比べるとそれほど変化はない。
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・株高により個人投資家の含み益が増えてきており、安心感からか、利益の一部は自動車等の消費に向かっている。
	不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりも晴天が多いこともあり、好調が続く売上も前年同月を上回っている。駐輪場は、必要かつ低額で利用できることもあり、その出費を惜しむほど景気は悪くない。
	不動産業（用地仕入）	競争相手の様子	・競合先の動きにも特段のトピックがない。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・定期的に受注していた広告でも、客による見直し等で減少する物が出てきている。
	公認会計士	それ以外	・輸出型の大企業に比べると中堅中小企業の業績は厳しい。中堅中小企業に勤務する労働者の給与は増えていない。
	行政書士	受注量や販売量の動き	・貨物の動きはまあまあという客が多い。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・中小企業でも大企業の関連先は良くなっているが、それ以外は余り良くない。特に専門業種は下請の選定が厳しくなっており、大手の意向に左右されている。
	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・客の業績は上向いているが、設備投資がほとんどなく、内部留保になっている。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・寒波等で農産物等の生産が減少しており、その影響で業況はやや悪くなっている。
	化学工業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・仕入原料のプラスチックの価格が上昇し、利益が減少している。
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末をピークとして受注量、販売量共に若干減少している。仕事が途切れてしまうほどではないが、手一杯というほど多くもない。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・部品材料の関連で不具合が発生し、利益が減少している。
	x 電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・パチンコ、スロットの大幅な規制により客先の業界全体で設備投資が減少しているため、極端に売上が減少している。
	x 輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きが、前年同期比で約15%マイナスと、最近にないほどの落ち込みとなっている。
雇用 関連 (東海)	-	-	-
	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・年度替わり前の駆け込み需要がある。新年度に向けて各企業の計画が固まるなかで、経営改善に積極的に取り組む企業も増加している。
	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・年度替わりが近くなり、企業の採用意欲が高まっている。
	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数は引き続き堅調に推移しており、3か月前より約10%伸びている。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	求職者数の動き	・自動車生産においては、国内販売、輸出台数共に増加傾向にあり、今後の生産体制も考えて、求職者数の増加がみられる。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は多いが求職者の希望に合うものが少なく、ミスマッチも生じている。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・3か月前に比べて、有効求職者数が16.2%減少し、有効求人倍率が1.69倍から2.00倍に上昇している。

	民間職業紹介機 関（支社長）	求人数の動き	・求人意欲は相変わらず高い。未経験者の採用や期間 工の採用等、これまで人材紹介サービスを利用してい ない企業からの求人依頼が増えている。特に、無料型 のサービスではなかなか採用できないため、成功報酬 型の有料サービスへのシフトが見受けられる。
	人材派遣会社 （社員）	求職者数の動き	・求人企業からの要件に合う人材が、引き続き枯渇し ている。
	人材派遣会社 （営業担当）	周辺企業の様子	・ここ数か月は変わらず、当社のエンジニア稼働率は 高水準をキープしている。景気が更に良くなっている というより、やや良い状態で横ばいである。
	人材派遣会社 （営業担当）	それ以外	・有効求人倍率は依然として高いものの、景気が回復 しているという実感はない。
	新聞社〔求人広 告〕（営業担 当）	求職者数の動き	・求職者が少なくなっている。就職イベントを実施し ても来場者数が減ってきている。
	新聞社〔求人広 告〕（営業担 当）	求人数の動き	・引き続き、新卒、中途採用共に、前年以上の人数の 事業所が多い。
	職業安定所（所 長）	求職者数の動き	・ここ数か月、新規求職者数の減少幅は前年同月比で 小さくなってきており、下げ止まりつつある。
	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・以前に比べると、新規求人数、有効求人数共に大幅 な増加はなく、前年同月並みの推移で落ち着いてきて いる。
	職業安定所（職 員）	雇用形態の様子	・新規求人数は高水準を維持しているが、正社員以外 の求人が多く、正社員の割合は9か月連続で低下して いる。
	職業安定所（職 員）	周辺企業の様子	・今月は、窓口へ寄せられる人員整理に関する企業の 情報が、年度当初から中頃にかけてと比べると増加し ている。
	民間職業紹介機 関（営業担当）	採用者数の動き	・引き続き企業の採用意欲は旺盛であり、時期的に登 録者の動きも活況を帯びている。
	*	*	*
x	-	-	-